

2019年10月31日

## 横浜ゴム、グループ会社の農業機械用タイヤが 世界最大の農業機械展で銀賞受賞

横浜ゴム（株）のオフハイウェイタイヤの生産販売子会社であるアライアンスタイヤグループ（ATG）の農業機械用タイヤ「Alliance 398 MPT（アライアンス・サンキューハチ・エムピーティー）」が「Innovation Award AGRITECHNICA（イノベーションアワードアグリテクニカ）」で銀賞を受賞しました。同賞は11月10日～16日にドイツのハノーバーで開催される世界最大の農業機械展「AGRITECHNICA 2019」の出展品を事前審査し、革新性に優れた商品を表彰するもので、今年は1商品が金賞、39商品が銀賞に選ばれました。

受賞した「Alliance 398 MPT」は農場や舗装路など路面状況に合わせて空気圧を自動で調整できるセントラルタイヤインフレーションシステム<sup>※1</sup>に対応。また、スチールラジアルフローテーション構造<sup>※2</sup>により、トラクションや積載量の増加のほか、土壌保護性など農場での優れた性能と高速での操縦安定性や静粛性、乗り心地など高いオンロード性能を両立しました。農業機械用タイヤとして世界初<sup>※3</sup>となる最高時速100kmを実現しています。これにより、農場での作業後、積み替え無しで収穫物を輸送できるため、穀物カートといった機器が不要になるほか、作業の効率化にも貢献します。

今回の「AGRITECHNICA 2019」では「Alliance 398 MPT」に加え、アップグレードした「Alliance VF（アライアンス・ブイエフ）<sup>※4</sup>シリーズ」、芝路面向けの新製品「Alliance 579（アライアンス・ゴーナナキュー）」などの商品を出展します。「AGRITECHNICA」は1985年から隔年開催されており、前回の2017年は52カ国から2,802の企業・団体が出展し、来場者は45万8,000人を記録しました。

横浜ゴムは、中期経営計画「グランドデザイン2020（GD2020）」のタイヤ生産財戦略において「オフハイウェイタイヤを成長ドライバーとして次の100年の収益の柱へ」を掲げており、国内外においてオフハイウェイタイヤのさらなる事業拡大に取り組んでいます。

- ※1 農場では空気圧を下げ、接地面積を増やすことで荷重を分散させて土壌への負担を軽くする一方、舗装路では空気圧を上げて走行する必要があるが、その上げ下げがトラックから降りることなく自動で調整ができるシステム
- ※2 農業機械用スチールラジアルタイヤ構造の中でも、泥濘路などの路面で土壌への負担を軽くするために要求されるフローテーション（浮力）性能に優れた構造のこと
- ※3 当社調べによる
- ※4 VF（Very High Flexion）規格で、同じ空気圧でも最大40%の荷重性能を実現しているタイヤ



「Innovation Award AGRITECHNICA」で銀賞を受賞した「Alliance 398 MPT」

このリリースに関するお問い合わせ先  
 横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田  
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570